

1. 施設の名称等

| | |
|------|-----------------|
| 施設名称 | 長崎県立世知原少年自然の家 |
| 所在地 | 佐世保市世知原町赤木場17-2 |

| | | |
|--------|-------|-------|
| 事業所管 | 教育庁 | 生涯学習課 |
| 課(室)長名 | 山崎 由美 | |

| | | | |
|------------|------|-----|--------------------------|
| 総合計画上の位置づけ | 基本戦略 | 1-3 | 長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる |
| | 施策 | 2 | 郷土を愛し、地域を支える心豊かな人材の育成 |
| | 事業群 | ④ | 子どもたちが直接自然と触れ合う体験活動の推進 |

2. 施設の概要

| | |
|--------|--|
| 設置年月日 | 昭和50年12月19日 |
| 設置法令等 | 長崎県立少年自然の家条例（昭和48年12月25日） |
| 設置目的 | 恵まれた自然環境の中で心身ともに健全な少年の育成を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条の規定に基づき、設置する。 |
| 利用対象者等 | 利用対象者：特に制限なし 営業時間：午前9時～午後5時（ただし宿泊者があれば、この限りではない） 休業日：毎週月曜日（利用予約があれば開業）及び12月28日～1月5日（年末年始休業日） |
| 施設内容 | 敷地面積：25,895㎡、建物面積：2,727㎡ 主な施設：本館、体育館、キャンプ場、芝生広場、アスレチック 宿泊定員：200名 |

◎利用料金表

| 区 分 | 単 位 | 金額(円) | |
|--------|-----------|-------|-----|
| 宿 泊 棟 | 小中学生 | 100 | |
| | 青 年 | 310 | |
| | 営利団体(小中) | 310 | |
| | 営利団体(その他) | 1,360 | |
| | 上記以外の者 | 730 | |
| テ ント | 小中学生 | 50 | |
| | 青 年 | 210 | |
| | 営利団体(小中) | 210 | |
| | 営利団体(その他) | 520 | |
| | 上記以外の者 | 310 | |
| プレイホール | 1時間 | 210 | |
| 研 修 室 | 大研修室 | 1室1時間 | 100 |

◎減免規定（県立青少年教育施設共通）

| 区 分 | 減免額 |
|--|--------|
| 1 県又は県教育委員会（県立青少年教育施設）が主催・共催による事業等を無料で開催するとき | 全額 |
| 2 幼稚園・小学校・中学校・高等学校が学校行事として行なう宿泊研修等で利用するとき | 全額 |
| 3 障害者（身体障害者・知的障害者）及び介護者が、青少年教育施設（宿泊型）を利用するとき | 全額 |
| 4 各指定管理者が公益上その他特別の理由があると認めたとき | 全額又は5割 |

類似施設の設置状況

| | 長崎県 世知原少年自然の家 | 佐賀県 黒髪少年自然の家 | 宮崎県 むかばき青少年自然の家 |
|------------------|------------------|-----------------|--------------------|
| 施設名称 | 世知原少年自然の家 | 黒髪少年自然の家 | むかばき青少年自然の家 |
| 設置年度 | S50 | S50 | S58 |
| 定員 | 200人 | 210人 | 200人 |
| R2利用者数(人) | 13,213 | 9,614 | 11,020 |
| 指定管理者制度 導入時期 | 平成18年4月1日 | 平成18年4月1日 | 平成18年4月1日 |
| R2県負担金額 単位：千円 | 47,299 | 64,358 | 78,370 |

| 県 予 算 | 区 分 (単位：千円) | 平成29年度 (実績) | 平成30年度 (実績) | 令和元年度 (実績) | 令和2年度 (実績) | 令和3年度 (計画) |
|-------------|------------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| | | 財源 | 国 庫 | | | |
| | その他(使用料) | 32 | 9 | 35 | 15 | 8 |
| | 一般財源 | 45,927 | 45,200 | 47,558 | 47,742 | 45,313 |
| | 事業費<A> | 45,959 | 45,209 | 47,593 | 47,757 | 45,321 |
| | 管理運営負担金 | 45,339 | 45,170 | 47,593 | 47,757 | 45,321 |
| | その他(備品購入費・改修費) | 620 | 39 | 0 | 0 | 0 |
| | 人件費 | | | | | |
| | 合計<C=A+B> | 45,959 | 45,209 | 47,593 | 47,757 | 45,321 |
| | 単位あたりコスト | 1.9 | 1.9 | 2.0 | 3.6 | |

(説明) 「当事業による一人あたりの施設利用費用」=C÷(当事業によるR2施設利用人員：13,213人)

3. 指定管理者の概要

| | | | | | |
|-----------|---|--------------------------|------|------|-----|
| 指定管理者の名称等 | 《所在地》 | 佐世保市烏帽子町376 | | | |
| | 《名称》 | 特定非営利活動法人 長崎県青少年体験活動推進協会 | | | |
| | 《代表者氏名》 | 理事長 鶴崎 耕一 | | | |
| 指定期間 | 平成28年4月1日～令和3年3月31日 | | | | |
| 業 務 | 施設(設備)の維持・修繕等(ただし150万円以上の改修を除く) 利用団体の指導に関する業務、主催事業・施設事業に係る広報・PR活動、教育機関としての連携業務 | | | | |
| 利用料金制 | ■ 導入済 | 未導入 | 選定方法 | ■ 公募 | 非公募 |

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

| 成果指標の達成状況 | ① アンケート調査による利用者満足度(%) | ② 年間利用者数(人) | ③ 主催事業参加率(%) | (目標値の根拠) | | <令和3年度実施における変更点> | | | | |
|------------|-----------------------|-------------|--------------|----------------------------------|-----------|------------------|------------|-----------|-----------|-----------|
| | | | | ①利用者の大半が満足していると判断できる90%を毎年度維持 | | 平成29年度(実績) | 平成30年度(実績) | 令和元年度(実績) | 令和2年度(実績) | 令和3年度(計画) |
| | | | | ②過去5カ年の平均と前年度実績から算定 | | | | | | |
| | | | | ③定員の充足 ※いずれの目標値も指定管理者と協議のうえ設定 | | | | | | |
| 実 績 | | | 平成29年度(実績) | 平成30年度(実績) | 令和元年度(実績) | 令和2年度(実績) | 令和3年度(計画) | | | |
| | 単 位 | | | | | | | | | |
| ① | a 目標値 | % | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | | | |
| | b 実績値 | % | 99 | 99 | 99 | 100 | 90 | | | |
| | c 達成率b/a | % | 110 | 110 | 110 | 111 | 90 | | | |
| ② | a 目標値 | 人 | 25,200 | 24,700 | 24,900 | 23,700 | 17,700 | | | |
| | b 実績値 | 人 | 24,462 | 25,208 | 23,011 | 13,213 | | | | |
| | c 達成率b/a | % | 97 | 102 | 92 | 55 | | | | |
| ③ | a 目標値 | % | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | | | |
| | b 実績値 | % | 106 | 113 | 103 | 80 | 100 | | | |
| | c 達成率b/a | % | 106 | 113 | 103 | 80 | 80 | | | |
| 指定管理者の収支状況 | 事業計画(R2) | | 平成29年度(実績) | 平成30年度(実績) | 令和元年度(実績) | 令和2年度(実績) | 令和3年度(計画) | | | |
| | (千円) | 実績-計画 | | | | | | | | |
| 利用料金 | 2,035 | ▲1,201 | 2,317 | 2,146 | 2,109 | 834 | 1,994 | | | |
| 県負担金 | 47,299 | 0 | 45,339 | 44,682 | 46,314 | 47,299 | 45,992 | | | |
| その他 | | 0 | | | | | | | | |
| 収入計a | 49,334 | ▲1,201 | 47,656 | 46,828 | 48,423 | 48,133 | 47,986 | | | |
| 支出b | 49,334 | ▲6,679 | 46,493 | 45,365 | 47,103 | 42,655 | 47,986 | | | |
| うち人件費 | 32,837 | ▲1,502 | 31,256 | 31,597 | 31,905 | 31,335 | 33,069 | | | |
| 収支a-b | 0 | 5,478 | 1,163 | 1,463 | 1,320 | 5,478 | 0 | | | |
| 配置職員数(人) | 常勤 4 | 非常勤 0 | 常勤 4 | 非常勤 3 | 常勤 4 | 非常勤 3 | 常勤 4 | 非常勤 3 | | |

5. 令和2年度事業の実施状況・実績の検証

| 管理運営の状況 | 計 画 | | 実 績 | | |
|---------|--|--|-----|---|--|
| | <指定管理者実施分> ①施設(設備)の維持修繕等 ②利用団体の指導に関する業務 ③主催事業に関する業務 ④施設事業に係る広報・PR活動 ⑤教育機関としての連携業務 <県実施分> ①業務の実施状況や管理経費等の収支状況の調査を実施 ②県の広報媒体を活用した施設及び主催事業の周知 | | | <指定管理者実施分> ①協定書に基づき適正に実施された。 ②入所時の安全指導、滞在中の巡回等が適切に行われた。 ③事業計画書に基づいた積極的な事業展開が行われた。また、事業内容の見直しも随時検討し、次年度以降の計画に活かされた。 ④募集要項、チラシ等を近隣小中学校へ配布し、直接学校訪問する等、PR活動を行った。また、ホームページでの事業案内など積極的な広報活動に努めた。 ⑤小中学校、高校の宿泊学習や部活動の合宿、市町教育委員会の各種事業との連携を図った。 <県実施分> ①適正に実施されていることを確認した。 ②県広報媒体を活用し広報活動を実施した。 | |

| | | |
|---------|---|--|
| 管理運営の状況 | 検 証 | |
| | ○管理運営状況については、協定書に基づき適正に実施された。 | |
| | ○利用者数については新型コロナウイルス感染症拡大の影響で13,213人となり、目標である23,700人を達成できなかった。 | |
| | ○主催事業については定員に対する参加率が80%となり、目標を達成できなかった。 | |
| | ○施設利用者への満足度アンケートでは、100%が「良」という結果で目標を達成し、施設サービスについて非常に高い評価を得た。 | |

| | | | | |
|-------|------------|--------|--------|-------------------------------|
| 収支の状況 | 収支計画・実績 | | | |
| | ＜指定管理者実施分＞ | | | （単位：千円） |
| | 主な項目 | 計画 | 実績 | 増減理由・収支改善の取り組み等 |
| | 収入 a | 49,334 | 48,133 | |
| | うち利用料 | 2,035 | 834 | |
| | うち県負担金 | 47,299 | 47,299 | |
| | 支出 b | 49,334 | 42,655 | |
| | うち人件費 | 32,837 | 31,335 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び経費削減による支出減 |
| | | | | |
| | 収支 a-b | 0 | 5,478 | |

| | |
|---|--|
| 検 証 | |
| ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者数の減により、利用料収入が計画を下回った。 | |
| ○経費削減などの経営努力により一定の収益を得ることができた。 | |

| | |
|---|----------|
| 指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価 | B |
| <p>○新型コロナウイルス感染症予防対策として、休館期間を設けたこと、また高校生以下の施設利用を制限したことなどの影響もあり、利用者数が減少した。しかし、平成28年度～令和元年度における利用者数の目標達成率は平均99%と高く、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてはいるが、設置目的を達成しているといえる。</p> <p>○予約状況により休館日を変更して開館するなど利用者優先の運営が行われており、利用者の満足度も良好であるとのアンケート結果が得られている。</p> <p>○主催事業については、例年地元赤木場地区での「ほたる鑑賞」や、地域へ出向き「どんど焼き」等の行事を開催しており、地域に根ざした事業を展開している。また、例年児童養護施設と連携した自然体験活動事業についても実施している。※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の予防のため中止。</p> <p>○収支面においては、利用者確保に向けた広報・PR活動を継続的に実施したことにより、主催事業等一定の利用者が確保され、また細かな予算管理等の経営努力により収益を上げることができた。</p> <p>以上のことから、青少年を中心とした多くの県民に自然体験活動及び社会教育活動の場を提供することができ、設置目的に則した一定の成果が上がっていると思われる。</p> | |

6. 令和3年度事業の実施にあたり見直した内容

| |
|--|
| 内 容 |
| <p>○幅広い利用者増を目指し、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校だけでなく、学童クラブ・青年会議所等へ出向いて、施設利用について依頼した。</p> <p>○市青少年教育センターと連携した、アウトメディアキャンプ（ネット依存解消キャンプ）のプログラム開発に引き続き取り組み、児童養護施設の子どもの対象とした宿泊体験活動を今後も主催事業として取り組んでいく。</p> <p>○近隣の小学校の協力を得て、学級集団の学級満足度尺度や学校生活意欲尺度等について、QUTテストを活用した検証に継続して取り組んでいく。</p> <p>○「カプラ」を使用した仲間づくりのプログラム開発を推進し、出前授業等の依頼に対し積極的に対応する。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策により利用定員や活動内容に制限が加えられている状況にあるが、活動内容を吟味し、利用者の安心・安全を図りながら、利用者のニーズに沿った事業を実施していく。</p> |

7. 令和3年度事業の評価 ※評価区分（a：行われている、b：一部行われていない、c：行われていない）

| 視点 | | 評価 | 判定理由 | |
|---------------------|---|--|--|--|
| 指定管理者の行う管理運営等に関する評価 | ・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。 | a | 全体の利用者に対し、青少年の利用率が69%、また宿泊の利用率が38%と新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用率は例年より低下しているが、設置目的を概ね果たしている。 | |
| | ・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。 | a | 目的に則した利用料金設定と減免基準を設けており、住民の公平かつ平等な利用を確保している。 | |
| | ・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。 | a | 利用者アンケートを実施し、利用者ニーズを取り入れたサービスの提供に努めている。また、アンケート結果も満足度が非常に高い。 | |
| | ・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。 | a | 施設・設備の日常点検・定期点検は協定書に従って適切な管理が行われている。 | |
| | ・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。 | a | 利用者確保により収入の確保について努めている。 | |
| | ・経費節減に向けた取り組みが行われているか。 | a | 経費削減により収益を上げている。また、定期的に予算執行状況を把握し、適切な予算執行に努めている。 | |
| (その他の観点) | | | | |
| 施設の在り方についての評価 | 視点 | | 理由 | |
| | 必要性 | ・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。 | <input checked="" type="checkbox"/> a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている | 令和2年度の利用者は、約1万3千人と新型コロナウイルス感染症拡大の影響で目標値を下回ったものの、学校等の宿泊学習が行われたり、一般の利用者に対し、自然体験活動の重要性を認識させる事業を実施したりしており、必要性は高いと思われる。 |
| | | ・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適応しているか。 | <input checked="" type="checkbox"/> a. 適応している <input checked="" type="checkbox"/> b. 一部適応していない c. 適応していない | 本県の人口減少や厳しい財政状況の中、長期的な公共施設の運用の観点から県北地域における青少年教育施設のあり方を検討しており、当該施設を県として長期的に運営することは困難である。 |
| | | ・市町または民間に移管・移譲することが適当（可能）ではないか。 | <input checked="" type="checkbox"/> a. 適当（可能）でない <input checked="" type="checkbox"/> b. 一部適当（可能）でない c. 適当（可能）である | 地元利用は79%と高く、地元市において施設を管理することが望ましいが、地元移譲の協議は市町の財政状況等を踏まえながら、慎重に行うべきである。 |
| | 効率性 | ・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。 | <input checked="" type="checkbox"/> a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない | 協定に定められた施設の維持管理、指導業務、主催事業等を実施し、概ね計画どおりの活動結果が得られている。 |
| | | ・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。 | <input checked="" type="checkbox"/> a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる | 社会環境に応じた柔軟性のある主催事業の展開、経費節減の実効性など指定管理者制度が有効に機能している。 |
| | 有効性 | ・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。 | <input checked="" type="checkbox"/> a. なっている b. 一部なっていない c. なっていない | 収支状況も概ね安定し、良好な施設運営、サービスの提供により、利用者の満足度も高い。 |
| | | ・事業効果をさらに上げる余地はないか。 | <input checked="" type="checkbox"/> a. 余地はない <input checked="" type="checkbox"/> b. 一部余地がある c. 余地がある | 主催事業の内容を見直すことや新規プログラム開発等を行うことで、さらなる充実化を図る。 |
| | (その他の観点) | | | |
| | ○今後、施設の設置目的や国、市町における類似施設等の設置状況を踏まえ、施設設置の意義や県民ニーズ、施設等の維持管理・更新などの長期的視点で、施設の必要性について検討を進めていく。 | | | |

8. 令和4年度事業の実施に向けた方向性

| 区分 | 現状維持 | 改善 | 移管 | 廃止 |
|---|------|----|----|----|
| (説明：令和4年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容) | | | | |
| ○佐世保市青少年教育センター（あすなる教室）と連携した、アウトメディア（ネット依存解消キャンプ）のプログラム研究開発を継続し、併せて、不登校傾向児童生徒の生活習慣の改善に向けた自然体験活動のプログラムの開発を行う。 | | | | |
| ○QUTテストを近隣小学校の協力を得て、体験活動プログラムの普及拡大に向け、効果や課題を引き続き検証する。 | | | | |
| ○新規プログラム開発として、「カブラ」を使用した仲間づくりのプログラム開発を推進し、出前授業等の依頼があれば積極的に対応する。 | | | | |